



三重県電気工業組合  
三重県電気工事協力会  
発行人 角谷利夫  
編集責任 広報委員

## “達成しよう”

# 職場のゼロ災害

### 61年度「安全管理基本計画」決まる

60年度は残念ながら県内においても墜落死亡事故等の重大災害が発生、その対策、再発防止について、各地区での推進にご努力願っているところであります。

安全管理推進会議では61年度「安全管理基本計画」をつぎのとおり決定、昨全年員に配布いたしました「安全作業必携」に基づく決められた事項の反復教育指導と基本事項の遵守の徹底により今年こそ「達成しよう」職場のゼロ災害」のローガンのもとに、全従業員を含め

て、一致団結の実践努力を特にお願いたします。

△まえがき△

企業にとって災害の絶滅は、人間尊重の基本理念に基づき重要な経営課題であり、安全が確保されて、はじめて企業の発展が望めるものである。

61年度の安全管理は、最近発生した重大災害の実態をふまえ、具体的な安全施策の推進、再発防止策の周知徹底をし、同種災害の再発防止にあたるとともに、各支部、地区においても、

各種施策を展開し、従業員災害および公衆災害の防止に万全を期する。

#### 1 基本方針

安全の確保にあたっては、人間尊重を第一義とする認識に立ち、事業主は率先して安全に関する範を示し、「安全作業必携」に基づく安全教育指導と、日常作業を通じて反復指導を行い、安全作業、安全確保の充実と基本動作の徹底および定着化を積極的に推進する。あわせて交通災害ならびに公衆災害防止のための

諸施策の実践に努める。

#### 2 具体的実施内容

(1) 各事業体の推進事項  
事業主は安全管理の責任、義務を認識し、現場作業を通じて指導を行ない、さらに不安全行為に対しては毅然たる態度で指摘し、厳しい指導を行なう。

また従業員は「安全作業必携」等、安全上決められた事項を遵守し、災害防止に努める。

#### ア 作業災害の防止

作業災害防止のため、次の事項について徹底をはかる。

①作業前TBMの確実実施(安全上の留意点、作業手順)

②無墜落柱上安全帯の確実使用(補助胴綱の使用)

③保護具、防具の確実使用

④保安帽の完全着用と作業時の正しい服装

⑤活線計器作業時の安全マスクの完全着用

⑥道路横断等の引込線作業の3名以上での実施

⑦高所作業(柱上および梯子上の作業等)道路作業の

監視の確実実施

⑧安全な作業足場の確保(梯子などの安定した使用)

⑨梯子脚立、足場台および屋根上作業時における安全带あるいはロープの使用

⑩停電作業時の停電範囲確認、検電の確実実施ならびに活線範囲の標示

⑪店主、監督者の随時現場出向による、不安全行為の指摘指導

⑫工具、保護具、防具の日常点検の確実実施

⑬災害速報、再発防止対策の周知徹底

イ 交通災害の防止

交通法規の遵守はもとより、常に周囲の状況に即応できる「ゆとり」ある運転を行なうなど、防衛運転と、シートベルトの着用を徹底し交通災害の絶滅を期する。

ウ 公衆災害の防止

作業にあたっては、公衆、車輛の通行など周囲の状況に留意し、標識類の設置、作業時の監視および作

(次ページへ続く)

各種教育の実施概要

項目	開催回数	概要	対象者	
安全推進会議	6カ月に1回	安全確保のための具体的展開策の指導方法等の検討	安全推進委員	
災害事例検討会	2カ月に1回	発生した災害(速報等)に基づく類似災害再発防止策の検討対策の周知徹底	全員	
実務訓練	安全作業訓練	6カ月に1回	安全標識の使用、正しい服装、保安帽の着用、梯子脚立の使用等	全員
	昇降柱訓練	6カ月に1回	昇降柱の手順、無墜落安全柱上帯の使用等	引込委託店
	引込線工事訓練	年に1回	引込線工事の正しい施工方法高所作業、道路上作業等の監視	新規引込委託店
教育講習等	保護具、防具の一点検	6カ月に1回	保安帽、ゴムシート、ゴム線カバー等の試験	全員
	安全パトロール	6カ月に1回以上	安全推進委員の主体に作業現場の安全パトロールと指導	安全推進委員
	安全教育	2カ月に1回	「安全作業必携」による危険予知訓練の実施	全員
	安全講習会	年に1回以上	スライド等を活用した安全講習会救急法訓練等	〃

業のあと片付けを確実にしない、公衆災害の防止をはかる。  
 エ 発電機による逆圧感電  
 災害の防止  
 自家用発電機の逆圧による柱上作業者などの感電を防止するため、発電機の切適な設置運用を行なうとともに、停電作業時には自家用発電機の確認、逆圧防止措置を行ない、逆圧による感電災害の絶滅を期する。

オ 内線関係の災害防止  
 最近の発生状況をみると依然として転倒、墜落、材料運搬時での災害が多く、内線関係といえども軽視することはできない。絶滅のため災害事例検討会等を実施し、再発防止に努める。  
 (2) 各支部、地区の推進事項

事業主をはじめ従業員の安全意識および知識技能の向上をはかるため、各種教育を実施する。  
 また各種安全教育に従業員が確実に参加するように、県協力は各支部、地区を指導、助言する。  
 ア、安全推進会議を中心とした安全意識の高揚および基本事項の定着化  
 イ、柱上作業の基本動作習得に重点をおいた講習会、研修会の実施  
 ウ、「安全作業必携」の説

エ、災害事例に基づく再発教育の実施  
 オ、災害発生時の現場における救急処置等の教育実施

カ、各種教育等への出席状況の把握と集約  
 なお具体的実施概要は別表のとおり

60年度

晴の受彰者

60年度に関係官庁、団体等から晴れの受彰に輝いた方々はつぎのとおりでした。あらためてお祝い申し上げます。  
 ◎60・4・25  
 電気安全中部委員会 委員長表彰  
 (優良電気工事士)  
 津地区 井端 清  
 鶴方地区 三井 徳男  
 亀山地区 岡幸 三郎  
 ◎60・5・28  
 全日電工連会長表彰  
 (永年職員功労)  
 上野地区 宮森 喜代  
 ◎60・10・2  
 三重県中小企業団体中央会、30周年記念式表彰  
 (組合役員功労)  
 津地区 吉田 捨吉  
 以上

◎60・10・4  
 中部電気工事協力会連合会40周年記念式会長表彰  
 (特別功労)  
 津地区 繁田 劔

◎60・11・27  
 名古屋通商産業局長表彰  
 (電気保安功労)  
 鈴鹿地区 中西陽太郎  
 鳥羽地区 上村 静男

◎60・10・2  
 松阪地区 角谷 利夫  
 四日市地区 伊東 直作

◎60・10・2  
 松阪地区 角谷 利夫  
 四日市地区 伊東 直作

◎60・10・2  
 津地区 吉田 捨吉  
 以上

・三重県知事表彰

### 60年度 「建設雇用改善推進事業」の 成果について

既報のとおり六十・六十一年度にわたり「第一種建設雇用改善推進事業団体」として認定をうけ、各種事業を展開いたしました。各地区区会員、従業員が積極的な参加により本年度事業計画どおり全事業について多大の成果をあげました。

その内容は、  
① 健康診断 各地区において定期健康診断、あるいは血液検査による総合診断を七一八名の多数が受診され健康保持のため大いに活用され、明るい職場づくりに邁進されました。

② 技能向上関係 HAなど新技術講習会については、北口先生の指導により三会場で実施、一七〇名が熱心に受講、また技能オリンピック大会についても一部助成対象となり、大いに技能向上に成果をおさめました。

### 理事会・委員会などのうごき

◎61・1・21(火) 「理事会」(21名出席)

- ・事業報告
- ・加入・退会、変更承認
- ・政治連盟、決算報告承認
- ・記念式典関係について
- ・各委員会開催日程調整
- ・その他連絡事項

◎61・2・3(月) 「事務局打合せ」(19名出席)

- ・実態調査票の集約について
- ・記念式典関係調査について

◎61・2・14(土) (金) 15

能研修見学会についても、大阪の松下ニューメディアセンター他の見学研修により見聞を広め新技術習得のよき場となりました。  
③ 福利厚生事業 61年4月から大きな改正となる年金法について、三会場にてテキストによる研修を実施、二一九名の多くの参加をいただきました。  
④ 安全関係 昨年制定された「安全作業必携」についても、全従業員の遵守徹底を図るため、本事業の適要をうけ、全員に配布、特に本年度はこの「必携」による安全教育

### 「役職員研修会」(30名出席)

- ・組合法と組合役員の任務について
- ・組合経理ならびに税務処理について
- ・建設雇用改善法について

◎61・2・18(火) 「青年部幹事会」(11名出席)

- ・事業報告
- ・各地区事業報告と予算措置について
- ・61年度事業計画案について
- ・通常総会日程について

育訓練が各地区で活発に実施され大いに効果を發揮いたしました。  
⑤ 雇用管理研修 61年2月別項のとおり、役職員による雇用改善研修会を実施、本事業の趣旨の徹底、重要さについて認識を新たにするなど、数々の事業を盛大にまた意義ある内容で多大の成果をおさめることができました。

さらに61年度についても、各種事業の推進について現在立案されつつあります。引続き全員の積極的な参加とご理解、ご協力をお願いいたします。

◎61・2・20(木) 「広報委員会」(5名出席)

- ・会報ならびに記念誌編集について
- ・61年度事業計画および予算案について、その他

◎61・2・24(月) 「安全推進会議」(15名出席)

- ・60年度事故内容の分析、検討、対策について
- ・61年度「安全管理基本計画案」について

◎61・2・24(月) 「三役、総務(委)合同会議」(10名出席)

- ・60年度予算執行状況検討
- ・総代会日程、対策について
- ・記念式典実施要領について
- ・組織の見直し検討について
- ・その他
- ◎61・3・4(火) 「厚生委員会」(4名出席)
- ・60年度事業報告
- ・61年度事業計画および予算案について、他
- ◎61・3・5(水) 「経済委員会」(6名出席)
- ・60年度事業報告
- ・61年度事業計画および予算案について、他
- ◎61・3・6(木) 「技術委員会」(7名出席)
- ・60年度事業報告
- ・61年度事業計画および予算案について、他
- ◎61・3・12(水) 「理事会」(19名出席)
- ・事業報告
- ・加入、退会、変更承認
- ・総代会日程、対策について
- ・記念式典実施要領について
- ・61年度安全管理基本計画について
- ・各委員会報告事項の承認
- ・その他

## 共済会だより

共済会事業については、  
全会員の加入により益々充  
実し相互扶助の実をあげて  
おります。

まず、本年度給付事業に  
ついては、傷病休務給付一  
十七件、弔慰金二十五件  
となっております。また福  
利厚生事業として、雇用改  
善事業とのタイアップによ  
る健康診断については七一  
八名の多数が受診され、健  
康保持の重要性について認  
識を新たにしていただきま  
した。

一方「第三者損害賠償補  
償事故」については別表の  
とおりであり、最近増加傾  
向となっております。中で  
も従来からよくいわれる初  
歩的ミスである誤結線によ  
る事故が十四件と増加、多  
大な損害となっておりま  
す。専門業者としての信用  
面にも大きなマイナス要因  
であり、今後一層の点検確  
認の励行により、再発防止  
に一段のご努力をお願いい  
たします。

## 第三者損害賠償事故発生状況

(60年3月～61年2月)

No.	地区名	事故発生 年月日	補償額 (円)	事 故 内 容
1	久居	60.3.13	103,900	パチンコ台替工事中誤結線により制御板15台焼損
2	松阪	〃 3.9	116,245	冷凍ケースを誤結線し商品をとかしてしまった
3	名張	〃 4.5	65,000	天井配線工事中天井の一部破損
4	四日市	〃 4.6	106,550	配電盤工事中誤結線にて200Vとなり機器損傷
5	鈴鹿	〃 3.20	309,000	溶接中火花により窓ガラスへの溶着
6	久居	〃 4.13	85,000	外灯引込線撤去時木柱が民家に倒れ、屋根・TVアンテナ破損
7	四日市	〃 4.21	240,000	インベータ設置に際し誤結線により焼損
8	桑名	〃 4.12	319,400	溶接作業後火花によりゴム製ベルトコンベアを焼損
9	亀山	〃 5.6	23,450	天井うらの改修工事中足をすべらし天井破損
10	津	〃 5.14	47,000	鏡に照明器具取付工事中鏡に亀裂を生じ取替え
11	鈴鹿	〃 5.20	28,000	配線工事のためTVを降す際誤って落下破損
12	津	〃 5.23	48,855	誤結線により配電盤に3P200Vを送電し、100V回路に200Vを流し機器焼損
13	四日市	〃 5.17	222,000	自家用精密点検の際AOG開放後紐を下げたままにしたため通行人にいたずらされAOG破損
14	鈴鹿	〃 7.1	95,000	天井配線中足を踏み外し天井板を破損
15	鈴鹿	〃 7.12	97,000	天井ダウンライト取付工事中、脚立を倒し、建具、ガラス破損
16	鈴鹿	〃 7.24	28,300	V A ケーブル貫通工事中壁の中のV A ケーブル切断、壁の塗りかえを要した
17	松阪	〃 8.8	1,886,639	冷凍庫電気設備を誤結線し、ヒーター電源が切れず冷凍庫、製品に被害を与えた
18	久居	〃 8.14		電柱荷降し中電柱転落し、温水器破損
19	伊勢	〃 7.15	103,456	引込張替工事に誤結線により200V流入、器機焼損
20	伊勢	〃 8.28	21,100	60.4.30送電時端子ネジ締め忘れ今回増設(2階部)時、中線開放となり200V流れ器機焼損
21	鈴鹿	〃 9.6	85,000	ダクト工事のため壁に穴を明け作業中大雨により雨が降り込み天井へ水が入り損傷
22	伊勢	〃 9.18	327,680	中性線ネジ締め忘れのため200V流入、器機損傷
23	伊勢	〃 9.12	175,000	明野自衛隊構内配管管理設工事中水道管を損傷
24	亀山	〃 10.2	184,100	水銀灯改修工事中電圧間違いにて器具破損
25	伊勢	〃 10.28	248,000	誤結線により便器コンセントへ200V流入焼損(2台)
26	桑名	〃 11.5	50,000	流し元灯取付工事に調理台に乗ったため曲りを入れ破損した
27	桑名	〃 11.25	38,450	作業中梯子が倒れ、通行中の自動車に当りボンネット等破損した
28	津	〃 11.19		60.8施工の動力分電盤端子締付不良のため火災発生、ブレーカー他損傷
29	伊勢	〃 11.5	79,530	水銀灯基礎工事中大雨により床上浸水家具汚損
30	四日市	〃 11.19		架空線工事中強風のため梯子が倒れ駐車中の車(フロントフェンダー)を損傷
31	津	〃 11.21	50,000	照明工事の際誤結線により200V流入、カラーランプ14基焼損
32	鶴方	〃 12.10		配電盤二次側誤結線により200V流入、テレビ照明器具破損
33	松阪	〃 12.9	55,000	照明器具取替工事中ショートさせ調光器焼損
34	伊勢	〃 12.29		結線ミスにより200V送電器機損傷
35	鳥羽	61.1.10		鏡付の柱に照明器具取付時に鏡3枚破損
36	松阪	〃 1.9	83,380	3F屋上より動力盤荷降中ロープが切れ物置小屋に落下、小屋破損
37	松阪	〃 1.16	29,500	屋上のクーラ室外機を運搬中パイプを落下し、車のボンネット破損
38	四日市	〃 2.10	109,700	誤結線により200V流入し、自動販売機焼損
39	鈴鹿	〃 2.3		電線管撤去作業中誤って天井損傷
40	四日市	〃 2.28		増築に伴う改修工事中角材にて天井破損
41	四日市	〃 2.26		電線ドラムをジャッキに乗せる時誤ってガラス破損

### 連帯感を深めた

## 役員合同研修会実施

去る2月14日、15日の両日にわたり大王崎灯台近くにある「いこいの村大王」において本部役員ならびに各地区事務局職員の合同研修会を実施した。

今回の研修会は複雑高度化する組合運営について、組合法に基く基本事項の相互理解を深めるとともに、復習確認することにより、組合員に対する適格な指導内容の向上徹底を図るた



楠木講師のお話しを熱心にメモ

「組合後まます 昼食後まます 役員の仕事につ いて」、中央会 の宮村次長講師 より現行の組合 法について詳細 な解説とともに 組合運営に対す る役員の仕事、 責任のあり方 等、また地域協 同組合などの例 も含め明解な指 導をうけ、引続

き15時より「組合経理なら びに税務処理について」、 組合経理の権威である楠木

税理士による研修、まず組 合独特の経理、基準、処理 方法などの解説、実務上の 例として、組合に納入され る種々の会費、賦課金な ど……組合員の事業体とし て支出処理方法（個人、法 人の相違など）、組合とし ての受入処理方法等、一般 会計と異った組合経理のあ り方、また組合以外の法人 等に対する税務上の取り扱 方など、一つ一つ実例をも っ、わかりやすく解説さ れ、参加者一同、従来の慣 習で処理していた点も、大 いに反省したり、納得した りで組合経理の重要性につ いて認識を深めた。

翌日は「建設雇用改善法 について」、東海社労士に より研修、「建設雇用管理 ハンドブック」をテキスト に、業界における雇用管理 の特殊性の理解とともに、 改善法による助成等の有効 活用方法等スライドを交え ての研修を実施した。



研修に熱の入る役員

なお利用した施設は雇用 促進事業団の建設による、 レクリエーション施設を兼 ねた憩の拠点として国道よ り岬に入りこんだ、風光明 りで閑静な国立公園の中心 地にあり、研修にはまたと ない好環境であり、または

じめての役員、職員合同に よる一泊二日の研修とあつ て懇親会もなごやかムード となり、一層の連帯感を盛 りあげ、長時間にわたる研 修にも一段と熱が入り、効 果が非常に有意義であつ た。

60年度事業をふりかえって

60年度役員、委員は任期の二年目を迎え、それぞれ活発な事業活動を実施、特に本年度は「建設雇用改善推進事業」の各項目について積極的な活躍を発揮され、所期の目的達成に努力されました。

転換期ともいわれる業界の運営について終始努力されました役員、委員の方々にあらためて深く感謝申し上げますとともに、各委員会、理事会などの出欠状況のご報告を申し上げます。

(広報委員会)

技術委員会

氏名	月日
上村 静男	6/12
飯田 秀爾	9/9
前出 博治	10/16
池山 清司	3/6
川口 豊	○
浜田 利久	○
藤井 銃吾	○
田畑 吉昭	○

広報委員会

氏名	月日
式嶋 豊	6/28
梶 昭夫	8/12
村脇 謙	8/23
中西陽太郎	9/6
吉田 捨吉	10/28
福岡 徹	2/20
西井 秋夫	○
見置誠一郎	○

常任理事会、総務委員会、他

氏名	月日
角谷 利夫	4/10
伊東 直作	6/6
亀井 正信	7/1
出	7/30
角谷 利夫	8/23
伊東 直作	8/27
角谷 利夫	10/11
伊東 直作	12/14
角谷 利夫	2/12
伊東 直作	2/24

厚生委員会

氏名	月日
楠 修次	7/3
小林重治郎	10/7
三井 徳男	3/4
川瀬 宗雄	○
山口 治	○
沖本 静雄	○
橋倉 孝雄	○
植田 昇	○

経済委員会

氏名	月日
高山 悦嘉	6/26
林 照己	3/5
魚見 久志	○
福田 紘一郎	○
森本 一夫	○
上谷 貞次	○
牛場 伊平	○
坂倉 真華	○

理事会 (含研修会)

氏名	月日
角谷 利夫	4/19
伊東 直作	7/12
角谷 利夫	9/11
伊東 直作	10/16
角谷 利夫	11/15
伊東 直作	1/21
角谷 利夫	※2/14
伊東 直作	※2/15
角谷 利夫	3/12

〈リレー特集〉

「名所、旧跡を訪ねて」

五ヶ所城跡（愛洲氏居館および墳墓）

鶴方地区 見置 誠一郎

五ヶ所城跡は度会郡南勢町五ヶ所浦にあり、地元では「愛洲さん」「愛洲さん」と親しまれている城跡であります。

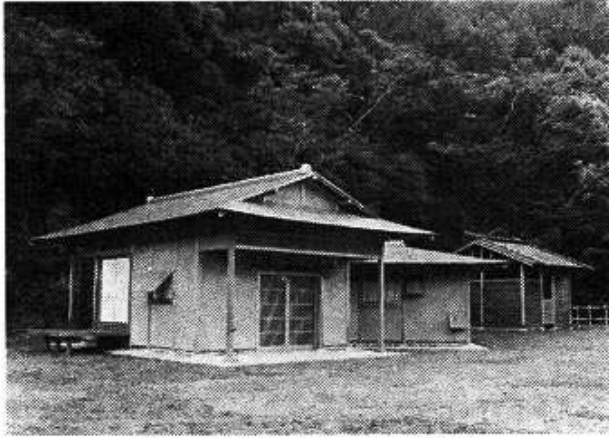
野灘に面し、湾曲の多い「リアス式」海岸線をもつ伊勢志摩国立公園の南の玄関口で、県内で最も温和な気候の地域です。

の増殖および養殖に関する技術上の基礎的試験研究に国際レベルを誇るスタッフで日夜活躍されています。さて五ヶ所城跡ですが、町の背後の丘陵中腹にあり、南北朝時代の豪族、愛洲一族の城跡である。

五ヶ所城についてはお話しする前に南勢町について簡単に紹介します。南勢町は度会郡の東南部、志摩半島の南端に位置し、南は熊

産業は主に農業、漁業が主体で、中では真珠養殖、五ヶ所ミカンの栽培が主な生產品である。湾内の獅子島には九州の五島列島や鹿児島の一部に野生しているが、本州ではここだけといわれる「ハマジンチョウ」が大切に保護され生息している。

また愛洲一族のうちで、剣道の始祖として愛洲移香斎が著名であります。移香斎は享徳元年（一四五二年）に生れ、青年時代を五ヶ所ですごし、30歳頃より武者修業を重ね遂に一愛洲陰流」を創設し全国にひろめたと伝えられています。新陰流の始祖、上泉伊勢守信綱や塚原卜伝もこの移



城跡に新設された水車小屋と茶室

また当町には昭和47年より国立の水産庁養殖研究所が設置され、同研究所では、水産動植物

香斎の弟子といわれ、柳生新陰流も愛洲陰流の一流派であり、現在伝えられる日本剣道の各流派の源をさぐる、移香斎の愛洲陰流にたどりつくといわれ、全国の剣道家から始祖として仰がれている剣士である。城跡をおとすれると、早春には赤い椿のトンネル、

**短歌**

伊勢地区事務員  
上之郷 智香子

(旅・オーストラリアにて)

宵闇の寂しき雲海飛び越えて  
銀の翼は今輝けり  
シドニーの夏色の海きらきらと  
いま言葉より微笑みうれし  
黄昏の異国の街角見渡せば  
あなたの他に頼る者なし  
(キャンベラ戦争記念館にて)  
この遠き異国にもあり戦いの  
兵士の汗涙<sup>あせ</sup>滲んだ日の丸  
血に褪せた千人針の布の色  
若き兵士の叫び聞こえり

晩秋にはミカンがたわわに実り、その間から眺める五ヶ所湾の眺望は「スバラシイ」の一言です。交通は伊勢市から車で約四十分、バスでは伊勢市駅前から五ヶ所行で約一時間です。ぜひ一度、ご来所ください。

## 会員異動のお知らせ

61年1月以降の会員異動は下記のとおりです。名簿の追記修正をお願いします。(事務局)

地区	種別	新旧	コード 番号	事業所名	代表者	住所	電話番号	郵便 番号	登録届出 申請番号
桑名	新加入		34472	中江電気工事店	近藤久夫	桑名市大字福島270	0594 21-5822	511	58-82
名張	退会		31603	新矢電気商会	新矢 皎	名張市緑ヶ丘東346	05956 3-0607	518-04	56-337
松阪	〃		32149	東部電機工事	西山直弘	松阪市西黒部町829	0598 52-0425	515-01	(届出) 83-6
伊勢	〃		33045	浜田電工	浜田利久	伊勢市通町178	0596 25-5687	516	(〃) 51-22
鈴鹿	〃		34706	和田電機研究所	和田次男	鈴鹿市大地一丁目6-2	0593 78-1645	513	56-151
津	承継加入	新旧	31082	(有)西電業 西電業	西 憲三	津市江戸橋一丁目95	0592 32-2733	514	(届出) 85-30 (〃) 500003
〃	〃	新旧	31015	小野電気商会 〃	小野新也 小野春生	一志郡香良洲町1383	05929 2-3705	514-02	56-198 〃
上野	〃	新旧	31428	村脇電機 村脇電機工業所	村脇 謙	上野市緑ヶ丘西町2342-10	0595 21-5347	518	(届出) 85-27 (〃) 51-44
松阪	〃	新旧	32006	斉宮電機 〃	中村治雄 中村 健三	多気郡明和町竹川266-8 〃 266-1	05965 2-5113	515-03	56-271 〃
〃	〃	新旧	32084	中尾電気工事 〃	中尾宏行 中尾 利一	松阪市大黒田町614-5 〃 896-6	0598 23-6351	515	56-255 〃
津	変更	新旧	31016	板西電気工業所 〃	数 胴 為 光	津市一身田豊野1406-66 〃 一身田町157-2	0592 32-0352 〃 32-0357	514-01	56-199 〃
〃	〃	新旧	31017	杉本電気工業所 〃	杉本 金 男	鈴鹿市白子駅前11-18 津市大字上垂水上屋敷1287	0593 86-4178 0592 26-2343	510-02 514	56-217 〃
〃	〃	新旧	31026	丸栄電気商会 〃	長谷川 登	四日市市桜台二丁目5-113 四日市市赤堀173-1	0593 26-7735 〃 53-4753	510	56-102 〃
〃	〃	新旧	31046	ワソオ電気設備 ワソオ電気工業所	鷲尾良則	津市乙部2167	0592 28-5654	514	56-213 〃
〃	〃	新旧	31058	(有)トキワ電機工業所 〃	乗竹英男	津市高茶屋小森町1743-2 〃 〃 3160-4	0592 26-3811	514	56-192 〃
〃	〃	新旧	31067	鈴中電機 〃	鈴木俊介	安芸郡安濃町戸島859	05926 8-2086	514-23	56-194 〃
伊勢	〃	新旧	33081	綿広田電化センター 綿広田シャープセン ター	広田 勇	伊勢市宇治浦田町101	0596 22-3393	516	56-367 〃
鶴方	〃	新旧	33457	浅井電機 〃	浅井弘雄	志摩郡阿児町国府3665-37 〃 〃 字安乗573	05994 7-3014	517-05	56-14 〃
鈴鹿	〃	新旧	34738	(有)伸洋電気 〃	田畑吉昭	鈴鹿市白子三丁目13-15 鈴鹿市白子駅前46-8	0593 86-3346	510-02	(届出) 85-3 〃
〃	〃	新旧	34748	長栄電設 〃	長栄守泰	鈴鹿市東磯山2丁目33-22 鈴鹿市東磯山一丁目6-13	0593 86-8728 〃 87-6213	510-02	56-125 〃



59・60年度災害発生状況

項目	支部	津		松阪		伊勢		四日市		計	
		59年度	60年度	59年度	60年度	59年度	60年度	59年度	60年度	59年度	60年度
内線工事	感墜	1						2	1	3	1
	転倒		7	1	3	1	2	6	4	8	16
	切斷	1		1	2			10	3	12	5
	荷物運転(腰痛)	5	1	4			1	4	1	13	3
その他傷害	3	9			1		2	10		6	19
小計		10	17	6	5	2	3	24	19	42	44
交通事故		5	1	2	0	0	1	4	2	11	4
計		15	18	8	5	2	4	28	21	53	48
入院日数		726	619	406	363	82	144	1,597	778	2,811	1,904
一人あたりの入院休業日数		48	34	51	72	41	36	57	37	53	39

「定着させよう安全行動」をスローガンに60年度中、各地区それぞれ積極的な安全推進対策を図って参りましたが残念ながら墜落死亡事故など重大災害が発生いたしました、一方内線関係、交通関係を含めての災害発生状況は別表のとおり

りです。対年前比でみると発生件数は僅かながら減少しており(平均休業日数も減少)ますが、死亡という大きな事故を含んでいる内容であり楽観は許されない状況であります。事故内容別にみると墜落事故と傷害事故が大幅に増加し、交通

60年度災害状況について

(安全推進会議)

また災害者の年令を考えると程上であり高年令化時代が反映されています。一般的に考えれば経験ベテランの方々の災害日数の長期化経営損失も一段と大

きくなっていることがうかがえます。中でも注目される災害として脚立作業時の事故が多発傾向であり、日常軽視されがちな内線関係の足場の

確保について全員が再認識すべきことであり、事故内容の相互検討の積み重ねにより再発防止に努力いたしたいと思えます。事故例を他山の石とせず、真剣に検

討され、類似事故の再発防止のため全従業員参加による安全基本の定着化に一層のご努力をお願いいたします。

事故発生日	地区	年令	事故内訳	休業日数
60.2.20	名張市	41	作業中両足の膝でジャンプしセメントで左膝蓋骨折った	74
2.21	名張市	65	走行中ラチェーターホースが破損して両足に熱湯をかぶった	17
2.22	四日市	25	資材片付中蒸気排出に右足がすべり負傷	46
2.23	員弁	70	脚立から降りる際足をすべらせ転落骨折	60
2.24	員弁	33	分電盤ボックス取付中落下し小指負傷	7
3.5	員弁	36	作業中階段で足をすべらせ右足親指骨折	30
3.10	松阪	36	帰宅途中電柱にぶつかり顔を切り3針縫った	
3.12	松阪	38	作業中脚立が倒れ落下した際胸部肋骨2本骨折	40
3.17	松阪	47	コンクリートブロックを持上げた際左腕捻挫	10
3.26	津	38	工事中足を滑らせ転落左足打撲	60
3.31	山田	56	脚立から足を滑らせコンクリートで腰、脇腹打撲	30
4.8	亀富	34	フォークリフト運行中接触転倒し右足を捻挫	24
4.9	津	41	作業中階段で足を滑らせ捻挫	30
4.12	四日市	56	作業中梯子から落下左足かかとを骨折	45
4.13	四日市	46	車から材料を降した時車から倒れ肩甲骨を骨折	60
4.26	津	43	鉄板加工中金くずが目に入った	30
4.30	名張市	34	作業中二階足場から転落右足踵骨折	112
5.16	名張市	53	単車で走行中大が飛び出し車ごと転倒右足首捻挫	30
5.18	久	26	アーケ溶接機を車に積上げた際、腰をひねった	7
5.18	津	49	手動型圧着工具に手をはさまれ負傷	14
6.15	桑名	64	作業中足場を踏外し左足関節捻挫	20
6.26	四日市	49	材料運搬中階段で転び腰を打撲	60
7.13	員弁	52	引込工事中梯子が倒れ転倒	60
7.26	員弁	64	配線中梯子3mから転落	113
7.28	員弁	44	作業中LBS電源に接触感電した	30
7.28	員弁	53	リフトに乗って工事中3m上から転落	30
8.2	津	49	工事中脚立から転落肋骨3本折れる	70
8.7	津	40	工事中足場を踏外し転落	7
9.14	松阪	46	交通事故交差点で信号待ちで止ったら追突された	60
9.19	松阪	34	温水器工事中ハンマードリルでコンクリートを割る際手をひねった	9
9.26	津	45	配線工事中脚立から転落	30
10.5	津	44	工事中脚立から転落	10
10.5	居居野	44	工事中脚立から転落その際タンで手を切った	9
10.22	久	41	交通事故対向車に衝突、頭右膝打撲	12
10.28	久	42	材料移動の際手がすべり中指骨折	30
10.30	伊勢	47	材料片付中左親指を突指した	40
10.31	伊勢	35	鉄骨をすべらすため持上げた時腰をひねった	40
11.4	四日市	48	作業開始後急に胸が痛くなり入院	60
11.5	伊勢	27	工事中屋根裏ハリ留が外れ4m上から転落	14
11.5	津	62	工事中天井裏の点検口で頭を打った	30
11.15	津	62	工事中屋根裏の点検口の角で頭を打ち入院	34
11.19	松阪	43	工事中ノミで穴を明けていたら手がすべり足の甲を打った	30
12.23	松阪	67	作業中脚立から転落	40
12.25	松阪	64	工事中脚立がかたむき転落コンクリート型枠角で右手骨折	40
61.1.7	松阪	31	脚立から足を踏外し転落	90
1.8	松阪	44	ビニールパイプの先端が右目に当り負傷	60
1.10	津	44	引込工事中脚立か足を踏外し転落、腰、左腕を打った	60
1.20	桑名	59	作業中天井へ上る時右足関節を痛めた	30

続・西国巡礼三十三ヶ所めぐり

松阪支部 式嶋 豊

〈リレー随筆〉

またまた西国巡礼三十三ヶ所観音めぐりのお話して恐縮ですが、私には是れと違った趣味もありませんので御容赦を頂き、ペンをとりました。五十二年のゴールデンウィークも後一日という五月四日夜十時に同行四人、日本三景の一つ、天の橋立を眼下に見下ろす丹後の国は成相寺へと出発しました。道順は伊勢自動車道(久居)・国道一号線を經て粟東より名神高速にのり、途中大津サービスエリアにてトイレ休憩(約二十分程)京都東インターより山科を通り清水寺を右に眺め五條通りを走り抜け国道九号線へ、深夜の為意外に車も少く昼間の混雑が想像出来ない位です。丹波町より二七号線・舞鶴で左折一七五号・一七八号を宮津を過ぎて五日午前五時目的の成相寺に漸く到着しました。早速車を駐車し、午前八時の開門時間まで車内で仮眠を取る。徹夜の運転に疲れ

寝付きはボタンキューウの有様でした。家では朝寝坊の私ですが観音さまの御利益か不思議にも十五分前に目覚め持参の握り飯で腹枵え、さあ今から参拝です。私達は車での巡拝の為古くからの登山道の一つを自動車に登れる様に改修された道を登り、山門から続く石段の中央附近左側の駐車場より参詣致しましたが、一般の人達はケーブルで衆松山まで登り、そこからバスに乗って山門前で下車、割合い簡単に参詣することが出来ます。寺伝に依れば此の寺は文武天皇慶雲元年(七〇四)に勅願により真応上人が建立し、聖観音を安置したのが始めであるといわれています。その後の歴史は明らかではありませんが、此の観音さまは此の地方の人達の信仰謂わば古くから庶民の信仰によって支えられて来た寺であるという事が出来るそうです。成相寺に関

しては平安時代からいろいろな文献に記されて居るのが見られるそうで、文献の一つで「今昔物語」第十六巻「丹後の国成合観音靈驗語第四」に記されて居る物語の概略を紹介して成相寺の縁起を辿って見ましよう。一人の修行僧が雪の深い冬の間此の寺に籠っていたが、深雪の為に里人の往来も途絶え遂に食糧もなくなつて既に十日ばかり過ぎて終つた。その頃には、さすがの修行僧も何をやる気もなくなり、仏を拜むことすら出来なくなつて居た、そこで死を予感した僧は、もう一度、今日食して生きる為だけの食糧を与えられん事を本尊の観音さまに祈つた、すると狼の為に傷ついた猪(鹿という説もある)が堂の外に倒れて居るのに気付いた。之れは観音さまが与え給もつたもので有ると思つたが、修行僧は肉食の禁戒を破る事に思い悩んだ。しかし、命を永らえる為には仕方がないと思ひ、決心して猪の左右の腿を裂いて煮た修行僧は自分が夢幻のうちに獲た肉を土鍋で煮てその肉だけを永らえて

居た。やがて春が近づき雪が消え、里人たちが修行僧の事を心配して突然登つて来ました。修行僧は慌てたが、鍋の中に残っている肉を隠す暇すなかつた。しかし里人たちが鍋の中を覗くと、その中には櫓の木が刻んで入つて居るので驚き、また修行僧の苦勞を哀れに思つた。里人たちがふり返つて本像をみると像の左右の腿が切り取られたようになって居たので驚いた。そこで修行僧は自分が煮て食べた肉は本尊の観音さまの腿肉で有つた事を悟つた、その事を思い本尊に向ひ、もし私の為にそのようなお姿になられたのならば、元

のような姿に戻つて戴きませうにお祈りしました。すると集つて居る里人たちの眼の前で観音さまは忽ち元のお姿に返られた。その為此の寺を成合(相)と名付けられたといふ物語で有ります。私達は納経集印と参詣を済ませ、衆松山の麓の海辺から対岸に向つて延びる白砂青松の天の橋立の素晴らしい景観もそこそこ山を降り一七八号を宮津・舞鶴へと引き返し第二十九番札所青葉山松尾寺に参詣するところですが余りにも長くなりますので本日は此の辺でペンを置きたいと思ひます。続きはまたの機会に

訃報

昭和60年度中、不幸にして物故されました会員は、つぎの方々でした。

○60・5・30 員弁地区 千代田電気工業所 近藤利夫(62歳)

○60・8・29 津地区 津電気商会 清水武(65歳)

○60・9・3 松阪地区 中尾電気工事 中尾利一(47歳)

# 琵琶湖沖之島俳句紀行

松阪正和電工 福 田 松風子

近鉄終点京都駅で東海道線に乗換へて近江八幡駅下車そこで兵庫方面から来る同志と落ち合った、駅前ストアーで昼食をとり定期バスに乗り合はす、郊外の水郷に況って枯芦原に親しみながら約三十分長命寺船着場に到着した。

島の渡舟はまだ着いていなかった一行は散々々々その周辺を写生することになった。

る渡舟

舟足の湖風に腹の底凍

つる

翔つ鴨の船路を知って

をりし距離

鴨の陣いくたび崩し船

路あり

上陸の鳥表は湖を渡って来た寒さから解放された思ひであった。島の径はコンクリートで固められているが二人並んで歩けないほどである。人々は荷を運ぶのには猫車という一輪車であり島人の足は自転車である、自動車の通行しない町は交通規制もなき如く清澄そのものである。

防波堤そこが島みち  
鳥住の欠かせぬものに  
猫車押して運べる頬  
被  
自転車が人の足てふ頬  
被  
道教へくるる背の子も  
頬被

その防波堤の果に句会場すなわち今夜一泊する民宿がありその先はもう湖の真中である、なんだか流人島めいていた。  
眼下に磯がひとつぼつんと浮かんでいて折から海鷗が一匹湖より這上ってしばらく羽づくろう様は吾々一行を歓迎している格好で真に印象的であった思はぬ風景に皆喜んだのであった。  
民宿の縁も見晴台もぼろぼろにさびれて湖上に住み風雪に耐へた年輪を如実に物語っていた。  
磯あれば鷗も羽づくろふ冬の湖  
島守士菊も大根も育て住む  
大根稲架みな低くして湖に向く  
はや昏れて鴨の仔細は明日のこと  
冬嵐の暮れて驚舞ふ島泊り  
湖なりに冬の灯籠の侮  
どれず  
暖房に湖上を忘れるる泊り  
夕食をはさんでの句会も

一つの島にして裏と表とこども違うものかと驚くと共に島に住む実感の一部を味はったのであった。  
路地抜けて北風の荒きにたじろげる  
旅人に島の北風とは殊のほか  
大琵琶の風波鴨を消すことも  
疎き眼に波間の鴨を指されても  
鴨は陣場は潜りてちりぢりに  
潜らねば鴨の生活の成立たず  
見せ場とし少し長かり鷗潜る  
視線欺くがごとく浮かび出る  
比良風しぐれにも耐え島ぐらし  
最後の句会も終つて北風荒き湖を揺にゆれる渡舟に島の名残りを惜しんだのであった。

雨雲  
時雨の湖を玻璃窓におきながら朝食を済ませ最後の句会場を島裏に移すことになった。時雨は湖東の朝焼が晴れるにつれて徐々に回復したが三十戸ばかりの路地を抜けた島裏は一瞬たじろぐ程に北風が強かった。

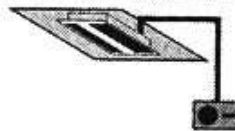
おわり

新・増改築時にご検討ください。

# 住まいに組み込むハウジングエアコン

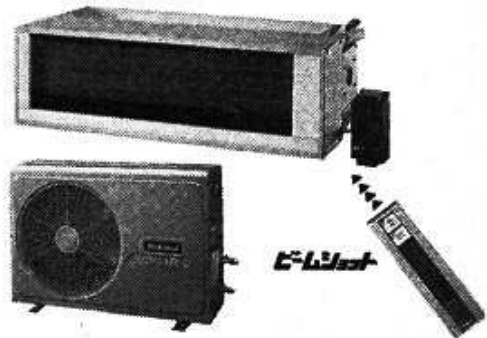


ビルトインエアコン天井内設置例



インバーター冷暖ソフトドライタイプ

## CS-B280GA2



●冷・暖房のめやす

9~12 畳 (15~20㎡)	●暖房能力 4,000kcal/h (1,820~4,200kcal/h)
	●消費電力 1,790W ( 610~1,830W)
	●冷房能力 2,800kcal/h (1,920~2,800kcal/h)
	●消費電力 1,290W ( 660~1,290W)

CS-B280GA2 (単-200) / 室外CU-B280GA2 (単-200)  
 (室内) ¥154,000 (室外) ¥226,000 室内外本体価格 **¥380,000**

配管パイプ(4mの場合・CZ-4F4A) **16,000円**  
 フレア補助配管方式  
 合計価格 **¥396,000**

(室内)高さ235・幅750・奥行370mm (室外)高さ540・幅780・奥行245mm  
 (配管径)液側φ6.35(1/2")ガス側φ12.7(1/2") (接続電線)4芯

※接続電線は本体に同梱されておりません。  
 ※工事部材費用別途必要  
 ※室内ユニットの奥行寸法には電源部(80mm)の寸法は含まれていません。

エアコンを、天井や押入れ上下に埋め込み設置。



# 松下電器産業株式会社

## 中部電材機器営業所

郵便番号 461 名古屋市東区泉一丁目23番30号 電話 名古屋 <052>951-5281 (代表)